

Bungotakada City
20th Anniversary



市政のあゆみ

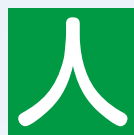
平成23年度～令和6年度

新豊後高田市20周年記念誌



発刊にあたり

地域の
活力は



令和7年3月31日、本市は新豊後高田市施行20周年を迎えます。

平成24年3月に市政のあゆみ（1998年～2010年対象）を発行してから13年が経過しました。この間、本市を取り巻く状況は大きく変わり、令和2年度の国勢調査では、大分県内の全ての市町村が人口減となるなど、人口減少社会がはっきりと数字として表れました。

そのような中で豊後高田市が持続的に発展していくためには、子育て支援、移住・定住支援などの「未来への投資」が重要であるとの思いで、「地域の活力は人」をスローガンに、スピード感を持ってさまざまな施策に取り組むとともに、政策には財源が必要であることから、7年間で約30億5千万円を節約するなど、メリハリのある行政運営を推進しています。

幸い市民の皆様のご理解とご協力をいただいたおかげで、11年連続社会増を達成でき、㈱宝島社の「田舎暮らしの本」の特集「住みたい田舎ベストランキング」では、第1回から13年連続ベスト3を達成するとともに、第9回から5年連続人口規模別で全部門トップを獲得できました。

また、令和6年4月24日に民間の有識者等で作る「人口戦略会議」が発表した地方自治体「持続可能性」分析レポートでは、10年前の同様の調査で消滅可能性自治体とされていた本市が、若い女性の減少率が県内で最も改善したことで「消滅可能性自治体から脱却」するなど着実な成果が表れてきています。

今回の市政のあゆみでは、重点施策の状況、人口や財政の状況を記載するとともに、平成23年度（2011年度）から令和6年度（2024年度）までの市政に関する出来事を年度別にまとめ、多くの方にわかりやすく・読みやすいものとして作成し、市民のみなさまの手に取りやすい冊子としました。

市政の経過や記録を読み返すことで、今後の市政発展の一助となれば幸いです。

令和7年3月吉日 豊後高田市長 佐々木 敏夫

目次

1. 重点施策の状況	
（１）子育て支援制度	・・・ 1
（２）教育のまちづくり	・・・ 4
（３）高齢者支援制度	・・・ 5
（４）移住・定住支援制度	・・・ 9
（５）新たな観光振興	・・・ 11
（６）文化財の保護と振興	・・・ 14
（７）未来に向けた商工業の発展	・・・ 15
（８）農林水産業の振興	・・・ 17
（９）健康なまちづくりの推進	・・・ 19
（10）安全・安心のまちづくり	・・・ 21
（11）新型コロナ・物価高騰対策	・・・ 23
2. 人口の推移と財政状況の推移	
（１）人口の推移	・・・ 25
（２）財政状況の推移	・・・ 29
3. 各年度のあゆみ（平成 23 年度～令和 6 年度）	
（１）平成 23 年度のあゆみ	・・・ 33
（２）平成 24 年度のあゆみ	・・・ 34
（３）平成 25 年度のあゆみ	・・・ 35
（４）平成 26 年度のあゆみ	・・・ 36
（５）平成 27 年度のあゆみ	・・・ 37
（６）平成 28 年度のあゆみ	・・・ 38
（７）平成 29 年度のあゆみ	・・・ 39
（８）平成 30 年度のあゆみ	・・・ 40
（９）令和 元 年度のあゆみ	・・・ 41
（10）令和 2 年度のあゆみ	・・・ 42
（11）令和 3 年度のあゆみ	・・・ 43
（12）令和 4 年度のあゆみ	・・・ 44
（13）令和 5 年度のあゆみ	・・・ 45
（14）令和 6 年度のあゆみ	・・・ 46
4. 市政の体制（平成 23 年度～）	・・・ 47

子育て支援制度

～全国トップレベルの子育て支援制度～

高校生までの保育料・授業料・給食費・医療費の完全無料化へ

平成30年の第1弾子育て支援制度『高校生までの医療費と幼稚園・小中学校の給食費の同時無料化』を皮切りに、年々、子育て支援制度を拡充しています。さらに、高田高校の生徒への無料の昼食提供（令和7年4月開始予定）に向けた準備を進め、「0歳児から高校生までの保育料・授業料・給食費・医療費の完全無料化」による全国トップレベルの子育て支援制度で保護者負担の軽減を推進しています。

妊娠期から高校生までの切れ目のない子育て支援制度（平成30年度以降にスタートしたもの）

平成
30年度

- ①高校生までの**子ども医療費を無料化**
- ②幼稚園、小学校、中学校の**給食費を無料化**
- ③誰でも無料で利用できる花っこルームを真玉地域と香々地地域にもオープン
- ④高田小・桂陽小の放課後児童クラブでの無料の放課後学習サポートを開始

令和
元年度

- ⑤子育て応援**誕生祝い金**で最大100万円を支給
（第1・2子：10万円、第3子：50万円、第4子以降：100万円）
- ⑥**保育料・副食費と公立幼稚園の授業料を完全無料化**

令和
2年度

- ⑦**妊産婦医療費を無料化**

令和
3年度

- ⑧産婦健診費用の助成と産後ケア事業を開始

令和
4年度

- ⑨子育て応援誕生祝い金を最大200万円（第5子以降）に拡充
- ⑩市外の保育園等へ通園している場合も保育料を無料化
- ⑪**受講料無料**の高田高校生のための学びの21世紀塾開塾

令和
5年度

- ⑫高田高校等に通う全ての高校生の授業料を無料化（10月～）
- ⑬市内の保育園で働く保育士への支援を充実

令和
6年度

- ⑭子育て応援入学祝い金を支給（小・中・高校入学時に5万円）
- ⑮子どもの入院時食事代を無料化（7月～）

令和
7年度

- ⑯**高田高校の生徒へ無料の昼食提供**
（4月開始予定）



地域で応援する子育てサービス

■花っこルーム

子育て中の親子が気軽に集い、たくさんの人たちと交流や情報交換ができる花っこルームは「NPO法人アンジュ・ママン」が高田・真玉・香々地で運営し、誰でも気軽に利用できます。



花っこルーム高田



花っこルーム真玉



花っこルーム香々地

■利用料 無 料

■開所日時 高 田 月～土曜日の9時～16時
真 玉 月～金、第2・第4土曜日の10時～16時（第2・第4土曜日の前々日は休み）
香々地 火～日曜日の10時～16時
※祝日、年末年始はお休み

■ファミリー・サポート・センター

子育てを手伝ってほしい「よろしく会員」が、花っこルームにいるアドバイザーに相談すると、育児経験豊富な「まかせて会員」をご紹介します。

育児に疲れたときや用事のため子どもを預かってほしいとき、保育園等への送迎をしてほしいときなど、まかせて会員がサポートします。

※一定の利用料が必要です（ひとり親家庭、住民税非課税世帯などは利用料が減額になります。）

Pick
UP!!



スタッフのみなさん

子育て支援団体「アンジュ・ママン」

上記のほかにも、妊産婦さんのための家事・育児の支援や子育て用品のレンタル、沐浴の指導やベビーマッサージ、幼児向け英語教室など幅広い取り組みを行っています。

子育てに関することであれば、育児経験豊富なスタッフが何でも相談に応じます。

■設立年月 平成22年3月

そ のほかにも、きめ細かな支援を実施



病児保育室なないろ（高田中央病院内）



天使のゆりかご（健康交流センター花いろ内）

■病児保育と病後児保育

病気療養中や病気からの回復期のお子さんをお預かりします。

- ①病児保育施設 高田中央病院内「病児保育室なないろ」
- ②病後児保育施設 健康交流センター花いろ内「天使のゆりかご」

■ママ家事サポート

妊産婦さんの家事・育児を「家事サポさん」がサポートします。

■保育園の休日保育・延長保育

日曜日や祝日に家庭で保育できない場合でも、市内保育園に在園していれば休日保育が利用できます。また、市内6つの保育園で、通常の開所時間を超えた延長保育を実施しています。

■一時保育・一時預かり

保護者が病気のとときや育児疲れの解消などのため、一時的に保育園や花っこルーム高田・香々地でお子さんをお預かりします。

■こども家庭センターの設置（令和6年4月、健康交流センター花いろに設置）

全ての妊産婦・子育て世帯・子どもに関する相談や支援のワンストップ窓口です。

■子育て用品のレンタル

チャイルドシートやベビーベッドなどの子育て用品を低料金でレンタルできます。

※中央公園に隣接する「おひさまひろば」（写真右）で、子育て用品や公園で使える遊具（ボール等）を貸し出しています。



学びの21世紀塾

～学習・体験を年長児から中学生に～



放課後寺子屋講座（プラチナ館）



高田中学校で開催された中学3年生の冬季特別講座

幼稚園から中学生までが対象の学習サポートや小学生が対象の体験活動を無料で提供しています。

- **いきいき寺子屋活動** 土曜寺子屋講座（英会話、そろばん、タブレットなど）、水曜日講座、夏季・冬季特別講座、幼稚園講座、放課後寺子屋講座など
- **わくわく体験活動** 各地区公民館等主催の体験活動（茶道、お菓子作り、工作、科学実験など）や、地域の文化に触れる連続講座（そば打ち教室や草地おどり教室）など
- **のびのび放課後活動** 放課後に活動するスポーツ少年団などの活動を支援

難関大学突破等を目指す高田高校生向けの市営塾



一斉授業の様子



自習もできます

高田高校生の「学びの機会」の確保と市内唯一の高校である高田高校存続のため、学力の向上・難関大学突破等を目標に掲げた公設民営塾を令和4年5月に開塾しました。

「地域の活力は人」の理念のもと、高田高校生の学力アップ、魅力アップ、Society5.0の社会を担う活力ある人材を育成していきます。

■ **受講料** 無料

■ **日 時** 平日17：20～21：00

■ **場 所** 中央公民館、豊後高田市教育会館

高齢者支援制度

県内14市トップの敬老会実施補助金



地域の敬老会行事の実施を奨励するため、各自治会等へ高齢者1人あたり2,000円の補助金を交付しています。

※物価高騰などにより、令和5年度に補助金単価を1人あたり1,000円から県内14市トップの2,000円に増額しました。

県内他市の状況（令和6年度時点）

1市が1,200円、4市が1,000円、1市が800円、1市が540円、6市が支給なし

敬老祝い金は、県内トップクラスの内容

長寿をお祝いする敬老祝い金は、下表のとおり4つの年齢区分に支給するなど、県内トップクラスの内容です。

平成30年度までの77歳に3,000円、100歳に10,000円の祝い金は、令和元年度から下表のとおり、88歳と95歳の方へのお祝いを新設するとともに、100歳の祝い金の額を増額しました。



年齢	祝い金の額
77 歳	3,000 円
88 歳	15,000 円
95 歳	20,000 円
100 歳	50,000 円

シニアカーの購入・レンタル費用補助



シニアカー



玉津プラチナ市でのシニアカー乗車体験

歩行などに不安がある満75歳以上の市民を対象に、令和6年度から、シニアカーの購入・レンタル費用の一部補助を始めました。

- | | | |
|------|--------------|--------------------|
| ■助成額 | ①購入（中古車含む） | 費用の1/4（上限10万円） |
| | ②レンタル（1月あたり） | 費用の1/4（上限1,000円/月） |

自治会の集会所の改修費補助



■令和4～6年度までの改修件数

- ・令和4年度 5件
- ・令和5年度 5件
- ・令和6年度 5件

◀床の張替え改修後の集会所

地域コミュニティの活性化のため、老人憩いの家等の自治会への移譲と、令和4年度から各自治会活動のために自治会集会所の改修（屋根替え・床の張替えなど）費用の補助を行っています。

自治会集会所は、各自治会の活動はもとより、高齢者等のサロン活動や災害時の自主防災活動が行われる地域の拠点として活用されています。こうした集会所の改修補助などを行うことで、住み慣れた地域でいつまでも元気に安心して暮らしていただくための支援を進めています。

高齢者支援制度

その他の主な高齢者支援制度

いくつになっても、住み慣れた地域で、今後も、生き生きと安心して暮らすために、さまざまな支援制度をご用意しています。

■高齢者向け支援制度の一例

- ①家庭ごみの戸別収集
- ②市内全域で使える乗合タクシー
- ③70パス（路線バス割引利用券）
- ④運転免許証の自主返納支援
- ⑤特殊詐欺等防止機能付き電話機等の購入補助
- ⑥带状疱疹ワクチン接種費用助成
- ⑦70歳以上のがん検診無料
- ⑧安否確認見守りネットワーク・緊急通報システム
- ⑨市立図書館の宅配貸出サービス
- ⑩高齢者世帯へのケーブルネットワーク施設基本使用料の減免、施設引込工事費および分担金の減免



市が費用の一部を負担し、 お得に利用できる制度をご用意しています

安心して楽しく暮らしていただくために、次のようなサービスの費用を市が一部負担しています。

①配食サービス（市が400円を負担し、1食の自己負担金は400円）

食材の調達や調理が困難な「ひとり暮らしの高齢者」や「高齢者のみの世帯」を対象に、週5回を上限に夕食を配達するサービスです。※また、配達時に安否確認も実施しています。

②高齢者生きがい対応型デイサービス（市が2,520円を負担し、1回の自己負担は800円）

健康な高齢者が介護予防のために週1回を上限に利用できるデイサービスです。

日常動作訓練・趣味活動・健康チェック・入浴サービスなどがあり、昼食付きで送迎も利用できます。

③玉津東天紅のお得な会員制度（60歳以上の会員は、通常1,000円／回のところ、500円／回）

市内で唯一映画が楽しめる「玉津東天紅」には、市内在住の方向けのお得な年会員制度があります。

④玉津コミュニティカフェ「こいこい」文化教室（60歳以上の市民は、入会金免除や受講料割引あり）

玉津プラチナ通りの「こいこい」では、歌って健康教室、フラワーデザイン、スマホ教室など、趣味の講座がお得に受講できます。

玉津プラチナ通りの取り組み ～高齢者が楽しいおまち～



玉津プラチナ通り感謝WEEKでの賑わい



玉津プラチナ市で好評の寄席

「高齢者が楽しいおまち」をテーマに、玉津地区の通りを「玉津プラチナ通り」と名づけ、高齢者のニーズに合った商品販売や店舗展開を行っています。

9月の敬老月間には、通りを歩行者天国にした「玉津プラチナ市」をはじめ、敬老の日をお祝いするイベント「玉津プラチナ通り感謝WEEK」を開催。期間中は、70歳以上の高齢者に限定した特典満載の催しで賑わいます。

Pick
UP!!

玉津プラチナ通りは、高齢者が楽しい立ち寄りスポットが満載



生がいデイサービスが利用できる「玉津座銀鈴堂」



国東半島唯一の映画館「玉津東天紅」



誰でも出品できるリサイクル交流ショップ「よりみち」



産直の野菜や加工品を販売する玉津まちの駅「夢むすび」



まちブラが楽しくなる「トリックアート」を5か所設置



文化教室なども開催するコミュニティカフェ「こいこい」

移住・定住支援制度

多彩な移住・定住支援制度 ～ライフスタイルに合わせた多彩な支援～



支援制度を掲載したガイドブック（平成24年度発行開始）



令和6年度版では186の事業を紹介

「住みたい田舎ベストランキング13年連続ベスト3」「11年連続社会増」の“まち”にふさわしい、他に類を見ないユニークで、きめ細やかな支援制度を用意しています。

■移住・定住支援制度の一例

移住・定住奨励金（女子ターン奨励金、新婚生活応援金、ウェルカム未来の高田っ子応援金、孫ターン奨励金、愛ターンお嬢さん奨励金）、住まいの奨励金（ハッピーマイホーム新築応援金、お帰りがいい住宅改修事業、空き家バンク物件のリフォーム補助や奨励金）など

多彩な移住・定住イベント



田舎暮らし体験プログラム



ブギウギマルシェ
（楽しい暮らしサポーターズ事務局主催）

県外の子育て世帯を対象にした、宿泊型体験プログラムやオンライン相談も実施。

平成30年5月には、移住希望者の相談を受けたり、地域の人との橋渡しを行う「楽しい暮らしサポーターズ事務局」が発足し、先輩移住者が移住者をサポートする体制も整いました。

■楽しい暮らしサポーターズ事務局の取り組み

- ・移住者相談窓口
- ・地域と移住者が楽しめるイベントやワークショップ等開催

無料の定住促進宅地 ～移住・定住しやすいまちづくり～



真玉住宅団地



都甲住宅団地

令和元年、移住者専用の土地代無料の定住促進宅地を西真玉地区と都甲地区に整備しました。
真玉住宅団地の横に第2期の真玉定住促進宅地の整備を進めています。

■その他にも宅地や市営住宅等を整備済

新婚さん応援住宅「ハピネス・ステージ」、子育て応援住宅「住まいるハウス」、定住促進住宅団地「夢まち犬田」、定住促進住宅団地「夢まち城台」、子育て支援住宅「エミール城台」

全国で注目される空き家バンク



移住希望者に空き家バンク物件を紹介する「空き家見学プログラム」。全国各地から多くの方が訪れます

本市の移住の柱「空き家バンク事業」。多くの方の協力で多彩な物件が揃い、移住希望者の戸建てに住みたいという夢が移住へとつながっています。

■空き家バンクの登録世帯数と成約件数（令和7年1月末時点）

- ・利用登録世帯 4,793世帯
- ・全成約件数 723件

新たな観光振興

豊後高田昭和の町



商店街が一番元気だった昭和30年代の賑わいを蘇らせようと、平成13年9月に「豊後高田昭和の町」の取り組みを開始しました。

年間40万人もの観光客が訪れるまでに成長し、名実ともに市を代表する観光スポットになりました。魅力的なまちとして、今なお進化し続けています。

また、「豊後高田昭和の町」は、令和6年8月5日に商標登録を行いました。



創業支援施設（新町）



創業支援施設（中央通）



令和4年度景観整備後の商店街の街並み



昭和の夢町三丁目館
(令和6年4月29日リニューアル)

花とアートの岬・長崎鼻



長崎鼻の岬一面に咲き誇る「菜の花」と「ひまわり」

周防灘を望む広大な花畑に、春は菜の花、夏はひまわりが咲き誇り、アート作品が点在する「花とアートの岬・長崎鼻」は、魅力的で快適な宿泊施設なども整備され、常に進化するリゾート地として注目されています。

令和8年度には南欧風のコテージもオープン予定。今後のさらなる進化が期待されています。



①



②



③



④

■長崎鼻リゾートの設備

(森ゾーン)

- ・コテージ 10棟 (写真①)
- ・アウトドアサウナ 4棟 (写真②)
- ・ログハウス 11棟

(海ゾーン)

- ・トレーラーハウス 7台 (写真③)
- ・移動式サウナ 2台 (写真④)
- ・BBQテラス 2棟

Pick
UP!!

岬を彩る現代アート

～長崎鼻一帯に広がるアート～



不均質な自然と人の美術館
(太陽と月の部屋)



見えないベンチ
(オノ・ヨーコ氏)

最新のデジタル技術を使って長崎鼻の自然を表現したデジタルアートギャラリー「不均質な自然と人の美術館」。作品の一つである「太陽と月の部屋」は、第25回文化庁メディア芸術祭アート部門で大賞を受賞しました。

その他にも長崎鼻では、オノ・ヨーコ氏など国内外の著名な芸術家の現代アート作品を楽しむことができます。

真玉海岸 恋叶♥ゆうひテラス



絶景が望める「真玉海岸 恋叶♥ゆうひテラス」

令和5年4月、「日本の夕陽百選」に選定されている真玉海岸に、「真玉海岸 恋叶♥ゆうひテラス」がオープンしました。

施設には、絶景の真玉海岸を望むことができる展望テラスのほか、豊後高田そばや地魚を使った海鮮丼などが味わえるレストラン等を備えており、新たな観光スポットとして、多くの観光客が訪れています。

恋叶ロード ～国道213号を新たな観光ロードへ～



真玉海岸の夕陽をバックにした
恋叶ロードのイメージ画像



恋叶ロードのルート

海岸線を走る国道213号沿いには「縁結びの神様・栗嶋社」や、「夕陽の絶景スポット・真玉海岸」、「花とアートの岬・長崎鼻」など、ロマンティックなスポットがたくさん。「豊後高田昭和の町」を起点に、このスポットを結ぶ、約20kmのルートを“恋が叶う道”「恋叶（こいかな）ロード」と名付けて、全国に広くPRしています。

■恋叶ロード 平成25年に命名、平成28年「恋人の聖地」に認定。令和6年2月29日商標登録

六 郷満山文化など、本市の文化財保護と振興

近年、本市の自然や六郷満山などの文化財が、国の史跡や名勝などに相次いで指定されています。

また、日本遺産『鬼が仏になった里「くにさき」』の取り組みは、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで地域活性を図ることを目的としています。



平成25年度 富貴寺境内
(富貴寺大堂)



平成29年度 天念寺及び無動寺耶馬
(天念寺耶馬遠景)



平成30年度 中山仙境（夷谷）



令和6年度 六郷山（長安寺遠景）

■そのほかの国や世界からの文化財指定等（平成23年以降）

クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環が世界農業遺産に認定（平成25年）、国の重要文化的景観「田染荘小崎の農村景観」に里山エリアが追加選定（平成28年）、妙壽寺本堂等が国登録有形文化財へ登録（平成29年）、『鬼が仏になった里「くにさき」』が日本遺産に認定（平成30年）、真玉海岸が登録記念物（名勝地関係）へ登録（令和3年）、鍋山（南屏峡）が登録記念物（名勝地関係）へ登録（令和4年）、朝日岩屋と夕日岩屋が登録記念物（名勝地関係）へ登録（令和6年）

Pick
UP!!



日本遺産 『鬼が仏になった里「くにさき」』の振興

日本遺産とは、文化庁が認定する「地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリー」。認定から6年が経過した令和6年には、評価委員会による認定更新審査が行われ、認定継続とともに、モデル地域「重点支援地区」へ認定されることが発表されました。

今後も、日本遺産を活かした観光振興・地域振興などに取り組んでいきます。

未来に向けた商工業の発展

企業誘致の促進による工業の振興



大分北部中核工業団地

北部九州への自動車産業の集積に伴い、大分北部中核工業団地をはじめとした市内の工業団地では関連企業の進出や工場増設・設備投資が相次いでいます。

■市内への進出企業数（令和7年2月現在） 29社

全国初！ 官民連携の外国人技能実習生等の受入組織設立



3者での連携協定調印式の記念撮影



B I Cの国際交流イベントの様子

外国人技能実習生等が安心して働き・暮らせる仕組みを構築するため、平成30年2月、豊後高田市、豊後高田商工会議所、株式会社トヨ・テックの3者で「豊後高田市外国人技能実習制度導入連携協定」を結び、「豊後高田 International Contribution 事業協同組合（B I C）」を、全国初の官民共同で設立しました。

中心市街地活性化による商業の振興



現アルフォンソ（旧共立高田銀行）



昭和の路地裏迷路

平成24年3月、さらなる魅力的な“まちなか”を目指した第2期中心市街地活性化基本計画が国から認定（第2期基本計画としては全国初）されました。

中心市街地への誘客を促進するため、旧共立高田銀行（赤レンガ）や宮町ロータリーを改修するとともに、昭和の路地裏迷路や宮町警察官立寄所などを整備しました。

新たな チャレンジを行う創業者を後押し



ぬいぐるみ花束専門店



スパイスカレー善ZEN

豊後高田昭和の町商店街では、昭和30年代をコンセプトに昭和の趣を持った店舗への外観改修の支援を行うなど、豊後高田昭和の町にマッチした店舗出店の促進に加えて、商工業の活性化を目的として、若年層・移住者の創業支援や事業承継について、関係機関と連携し、支援しています。

全国トップクラスの産出額を誇る「白ねぎ」



白ねぎが栽培されている広大な干拓地



- ▲干拓地に広がる白ねぎ畑
- ◀みずみずしい白ねぎ

白ねぎは、本市を代表する園芸品目であり、市内の呉崎や西真玉の干拓地を中心に約400haで栽培されています。

昭和40年代から本格的な栽培が始まり、現在では、高温になる夏場に、標高が高く冷涼な市外の農地での栽培も含め、周年で出荷できる体制が確立されており、令和4年のねぎ産出額50.6億円は全国第2位です。

観て、打って、食べて楽しむ「豊後高田そば」



満開のそば畑



豊後高田そば道場



そば打ち段位認定会



豊後高田そば認定店の看板

平成15年に本格的に栽培が始まった「豊後高田そば」は、春と秋の2回収穫が特徴で、春そばは西日本有数の産地です。

また、手打ちそばが堪能できる「豊後高田そば認定店（令和7年2月時点12店舗）」、「豊後高田そば道場」でのそば打ち体験や「そば打ち段位認定制度（初段から四段）」もあり、「そば処」が満喫できます。

お米で育った銘牛「豊後・米仕上牛」



第4回飼料用米活用畜産物ブランド
日本一コンテスト入賞



豊後・米仕上牛

本市独自のブランド牛「豊後・米仕上牛」は、黒毛和種とホルスタイン種を掛け合わせた牛（交雑牛）。大分県産の飼料用米を200kg以上食べて育ち、お米を餌にすることで、美容と健康に効果が期待できる『オレイン酸』が豊富に含まれ、和牛の霜降りと赤身本来の旨味をバランスよく併せ持っています。

～本市は肥育牛頭数県内1位です（本市独自調べ）～

ぶんご岬ガザミの養殖スタート ～カキの養殖もスタート～



元気よく育った「ぶんご岬ガザミ」



赤く茹であがった「ぶんご岬ガザミ」

「地域団体商標登録」されている岬ガザミを安定して供給するため、全国でも成功事例のないガザミの養殖プロジェクトが令和4年度に始まりました。養殖されたガザミは「ぶんご岬ガザミ」として県内の飲食店にも出荷されています。

また、カキの養殖も始まっており、新たな特産品化が期待されます。

健康なまちづくりの推進

市民総ぐるみの運動・身体活動の習慣化のための取り組み



ぶんごたか健康ウォーク



特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会

ウォーキングやラジオ体操、筋力トレーニングなどの運動・身体活動の習慣化を進めるため、イベント開催時や健康増進事業（生活習慣病・フレイル予防等）で普及啓発を行っています。

慣れようす味・食べよう野菜の取り組み



小・中・高校の栄養教室



別府大学と共同開発した天然だし
「豊後高だし」

子どもの頃からの食と栄養の健康教室の開催のほか、別府大学と共同で開発した手軽に使える安心・安全な天然だし「豊後高だし」の普及を通じて、将来の生活習慣病予防の普及啓発を行っています。

各種健診事業の取り組み



がん検診も併せて受診できる総合健診の様子



健診カレンダー
(毎年全戸配布)

特定健診やがん検診に加え、19歳～39歳の若い方を対象とした健診（U40健診）を実施しています。また、70歳以上の方のがん検診を無料化しています。

併せて、他市に先駆け、胃がんリスクであるピロリ菌検査や生活習慣病と関連のある歯周病のリスク検査を実施し、疾病の早期発見に努めています。

いつまでも元気に「介護予防事業」の取り組み



元気アップ教室の様子
(左：ストレッチ、右：器具を使った運動の様子)

高齢者一人ひとりの状態に合わせ、筋力・体力アップを目指した運動を行い、運動機能の向上・改善を目指す、『元気アップ教室』を開催しています。

ため池の水位調整による減災対策



ため池水位調整の様子



令和2年6月のキックオフミーティング後の記念写真

大雨による洪水災害を未然に防止するため、市内全ての防災重点ため池（45池）の管理者などと、ため池の水位調整に関する「災害未然防止協定」を令和2年3月までに締結しました。

災害リスクを確認「ハザードマップ」



インターネットで、いつでも・どこでも確認できる総合防災ハザードマップ



冊子版の洪水ハザードマップ（全戸配布）



ハザードマップを活用した防災講話

ハザードマップには、洪水や土砂災害、高潮、津波といった災害リスクの情報や避難所などの位置情報をはじめ、災害への備えや適切な判断や行動がとれるよう、避難のポイントなどを掲載しています。

また、自治会等でハザードマップを活用した防災講話などを行っています。

市内全域をカバーする3つの乗合タクシーを整備



市民乗合タクシー



まちなか乗合タクシー

公共交通機関がない地域の皆さんの買い物や通院などの移動支援のため、3つの乗合タクシーを運行しています。

- 市民乗合タクシー 路線バスのように決まった曜日・時刻に運行（全10路線）
- 予約制乗合タクシー 対象者の自宅近くに設定した乗車場所から各地域（高田・真玉・香々地）の中心部まで運行
- まちなか乗合タクシー 月から金曜日に1日6便、決まった時刻に市中心部の13停留所を循環運行

多彩なツールで情報を発信



インターネットでの情報発信



ケーブルテレビで身近な情報を発信



紙面での情報発信

インターネットを利用した「市公式ホームページ・市公式SNS」、ケーブルテレビを利用した「市独自放送のB Tネット市民チャンネル・データ放送（dボタン）」、市報での各戸へのお知らせなど、様々な方法で、市の情報発信を行っています。

災害時等の緊急情報も、市公式ホームページやLINE、告知端末、L字放送等で随時お知らせします。

新型コロナウイルス感染症への迅速な対応

令和2年からの新型コロナウイルス感染症のパンデミックでは、外出自粛などの緊急事態の中、パニックを防ぎ、日常生活を支援するため、いち早く「買い物支援」での自宅待機者の支援を実施するとともに、感染拡大防止と社会・経済活動の活性化のため市独自の多様な支援策を行いました。

■新型コロナウイルス関係の市独自の支援制度（主なもの）

実施年月	対象	内容	コロナ対策☆
令和2年2月		買い物支援サービス（個別配送料無料）開始	
令和2年6月	すべての市民	1戸あたりマスクを10枚配布	第1弾
		妊婦さんにマスクを100枚配布	
		事業所向けの各種支援手続きの相談窓口を設置	
	事業者等	店舗等の家賃助成（最大月額6万円、6月分先払い）	
		新型コロナ感染症緊急対策特別資金の市独自利子助成（3年間）	
	対象の市民	税、保険料、市営住宅使用料などの減免・減額・猶予	
令和2年7月	すべての市民	お得な温泉共通入浴券を発行	第2弾
	事業者等	雇用調整助成金を最大30万円上乗せ支給	
		最大1人10万円、再就職を応援する事業所へ支援金	
		新たな事業展開を行う事業所へ設備投資を支援（最大500万円）	
		最大月5万円の医療・福祉施設の地元産食肉等購入支援	
		医療・福祉施設等へ地元産花きの装飾設置	
		宿泊費の半額相当を助成	
		最大100万円、医療機関等の感染拡大防止対策を支援	
令和2年10月	すべての市民	お得な温泉共通入浴券第2弾を発行	第3弾
	小中学校等	修学旅行延期に伴うキャンセル料等を補助	
令和3年4月	事業者等	店舗等の家賃助成第2弾（最大月額6万円、3月分）	第4弾
令和3年8月		事業所の感染防止物品購入等を助成（最大4万円）	
令和3年10月		中小事業者事業継続支援金を給付（最大20万円）	
令和4年10月	運送事業者等	市内運送事業者等に事業継続支援金を給付（最大20万円）	
	農家等	農家等に支援金を給付	
令和5年3月	PayPay利用者	飲食代が最大30%戻ってくるPayPayポイント付与キャンペーン（最大15,000ポイント）	

☆新型コロナウイルス感染症対策として市報でまとめて発表した支援策



市独自の家計支援と地域経済の下支え対策を実施

新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい家計と地域経済を下支えするため、市独自で支援金、地域振興券やお買い物券の給付を行うとともに、9回のプレミアム商品券等の発行などで、すべての市民と地域経済を応援しました。

■市独自の支援金・地域振興券・家計応援お買い物券（主なもの）

実施年月	対象	内容	コロナ 対策☆
令和2年7月	すべての市民	1人1万円の「定額支援金」第1弾を給付	第2弾
	すべての学生	学生を対象に、学生1人5万円の支援金を親等へ給付（ひとり親や非課税世帯等は1人5万円を追加給付）	
令和2年10月	すべての市民	1人1万円（高齢者等は1人あたり5千円を増額）の「定額支援金」第2弾を給付	第3弾
令和3年5月		1人5千円分（高齢者等は1人あたり2千5百円分を増額）の地域振興券を支給	第4弾
令和4年7月	すべての世帯	1世帯2万円分の家計応援お買い物券を支給	
令和5年7月		1世帯3万円の物価高騰緊急支援金を支給（※）	
	すべての子育て世帯	児童1人5万円の子育て世帯生活支援特別給付金を支給（※）	

※国の低所得世帯への1世帯あたり3万円の支援金やその子どもへの1人あたり5万円の給付金を、市独自で国の支給対象外世帯にも拡大し、すべての世帯に支給しました。

☆新型コロナウイルス感染症対策として市報でまとめて発表した支援策

■計9回・総額29億9千万円のお得なプレミアム商品券等で家計と地域経済を支援

第1弾プレミアム20%（市20%）	1億2千万円分発行	令和2年7月15日発売
第2弾プレミアム20%（市20%）	3億6千万円分発行	令和2年10月28日発売
第3弾プレミアム20%（市20%）	3億円分発行	令和3年5月26日発売
第4弾プレミアム30%（県20%・市10%）	2億6千万円分発行	令和4年2月4日発売
第5弾プレミアム30%（県20%・市10%）	2億6千万円分発行	令和4年9月29日発売
第6弾プレミアム30%（県20%・市10%）	3億9千万円分発行	令和5年4月1日発売
第7弾プレミアム30%（県20%・市10%）	3億9千万円分発行	令和5年9月29日発売
第8弾プレミアム30%（市30%）	4億5千5百万円分発行	令和6年2月7日発売
第9弾プレミアム30%（市30%）	4億5千5百万円分発行	令和7年2月9日発売



人口の推移

①国勢調査結果

市の人口は、自然増減（死亡と出生の差）がマイナスとなる影響で少しずつ減少しています。

しかし、前述の子育て施策や移住・定住施策などを積極的に進める中で、社会増減（転入と転出の差）は、11年連続で社会増を達成するなど、このまちの確かな未来に向けて着実な成果を上げています。

令和2年国勢調査の結果

①令和2年国勢調査は、厳しい中でも光が見える結果

令和2年に実施された国勢調査の結果では、県内全市町村の人口が減少に転じるという厳しい結果の中、下表のとおり、本市の人口は22,112人（前回比－741人）、人口増減率は－3.2%（県内第4位）となりました。

人口増減率は、県内の過疎市町村でトップ、かつ、平成22年国勢調査－4.8%、平成27年国勢調査－4.4%、令和2年国勢調査－3.2%と改善しており、県内で2回連続の改善は本市のみとなっています。

②国勢調査の結果は、人口の目標値を上回る

また、市の人口ビジョンの目標値（令和2年21,904人）、国立社会保障・人口問題研究所発表の日本の地域別将来推計人口（令和2年21,638人）をどちらも上回る数値となりました。

（令和2年国勢調査確定値の結果）

国勢調査結果と人口推計・目標達成状況		平成22年	平成27年	令和2年
国勢調査結果	総人口（人） ㉑	23,906	22,853	22,112
	うち男性	11,178	10,755	10,498
	うち女性	12,728	12,098	11,614
	前回調査からの増減数と増減率	－1,208 (－4.8%)	－1,053 (－4.4%)	－741 (－3.2%)
	総世帯数	9,665	9,572	9,584
推計・目標	日本の地域別将来推計人口（※） ㉒	23,906	22,489	21,638
	国勢調査結果との差 ㉑－㉒	0	+364	+474
	豊後高田市人口ビジョンの目標値 ㉓	－	22,939	21,904
	国勢調査結果との差 ㉑－㉓	－	－86	+208

※日本の地域別将来推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所発表数値

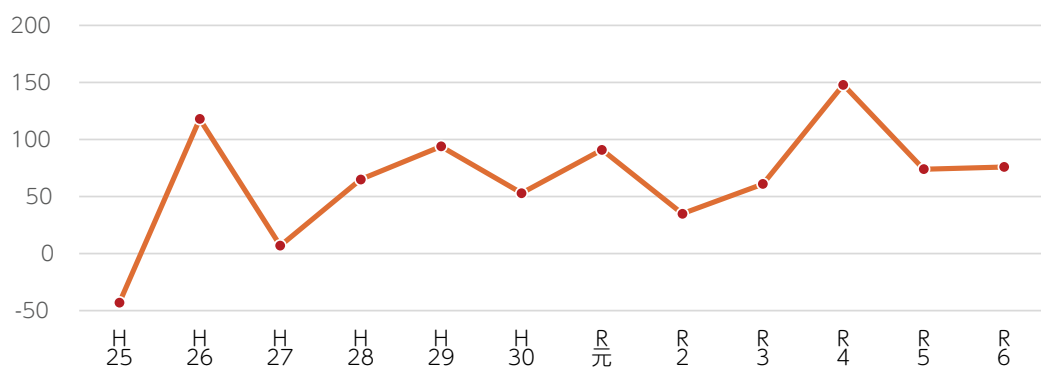
県内唯一 11年連続社会増を達成！

本市への転入者と転出者の差し引きである社会増減では、転入者が転出者を上回る「社会増」を県内市町村の中で唯一11年連続で達成。

市民の皆様のご理解とご協力が進めてきた移住・定住施策が社会増として数字に表れました。

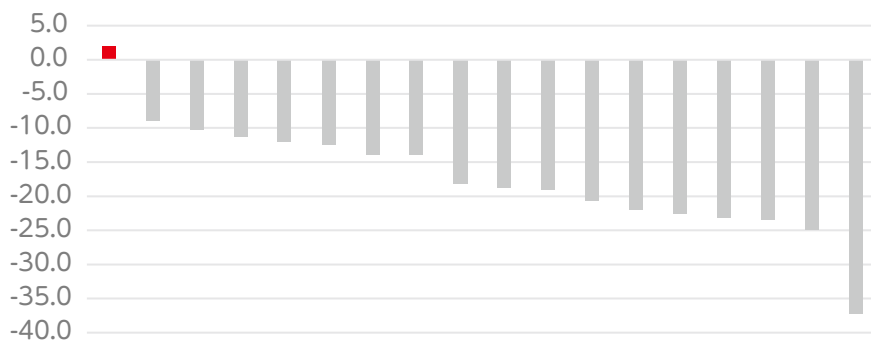
また、20～39歳までの若年女性人口増減率（令和2年と平成27年を比較）では、県内で本市のみプラスとなりました。

本市の年別社会増減（転入－転出）



各年の本市住民基本台帳より

20～39歳までの若年女性人口の増減率（令和2年－平成27年）



豊 日 中 由 大 国 日 宇 竹 臼 豊 玖 九 佐 杵 別 津 姫
後 出 津 布 分 東 田 佐 田 杵 後 珠 重 伯 築 府 久 島
高 町 市 市 市 市 市 市 市 市 市 大 町 市 市 市 見 村
田 市 市 市 市 市 市 市 市 市 野 市 市 市 市 市
市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市

国勢調査（令和2年－平成27年）を元にした県資料より



人口の推移

③住みたい田舎 ベストランキング

(株)宝島社 田舎暮らしの本「住みたい田舎ベストランキング」

5年連続全部門 1 位（人口規模別） & 13 年連続ベスト 3

移住者のバイブルとも言われる(株)宝島社の「田舎暮らしの本」で人気の特集「住みたい田舎ベストランキング」。同ランキングで、本市の移住・定住施策は大きな評価を受け、全国で唯一、第1回から13年連続ベスト3を達成、第9回からは、5年連続で人口規模別グループ全部門1位を達成しました。

■住みたい田舎ベストランキングの結果

第1回		総合	1位
第2回		総合	3位
第3回		総合	3位
第4回		総合	3位
第5回		総合	2位
第6回	小さなまち（人口10万人未満）	総合部門	2位
第7回	小さなまち（人口10万人未満）	総合部門	1位
第8回	小さなまち（人口10万人未満）	総合部門	1位
第9回	小さな市（人口10万人未満）	全4部門	1位
第10回	人口1万人以上3万人未満のまち	全3部門	1位
第11回	人口2万人以上3万人未満のまち	全4部門	1位
第12回	人口3万人未満の市	全4部門	1位
第13回	人口1万人以上3万人未満のまち	全4部門	1位



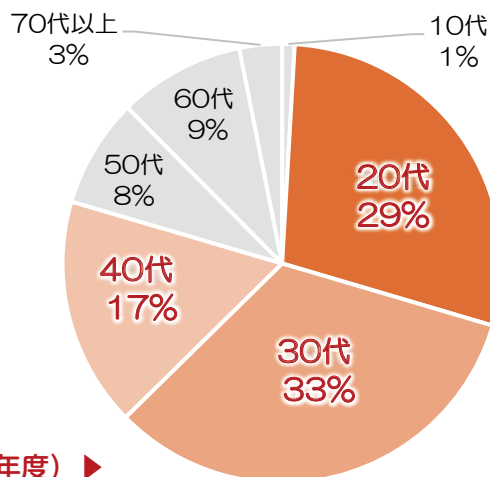
宝島社『田舎暮らしの本』
2025年2月号「2025年版
住みたい田舎ベストランキング」

■全国から移住地として注目され、移住者数増へ

重点施策でご紹介した全国トップレベルの子育て支援や積極的な移住・定住支援策に、「住みたい田舎ベストランキング」での知名度アップなども加わり、移住者が平成24年ごろから急増。移住者数が平成25年からは毎年200人を超え、令和元年から令和4年は300人以上となるなど、本市の持続的発展に好影響を与えています。

■移住者の約8割は子育て世代が占める

平成26年から令和5年の移住者の年代を見てみると、20代が29%、30代が33%、40代が17%となっており、子育て世代といえる20代から40代の若い世代が79%を占めており、移住者数だけでなく、移住者の年代についても、本市の持続的発展に好影響を与えています。



本市への移住者（世帯主）の年代割合（平成26年度～令和5年度）▶

④令和6年・地方自治体 「持続可能性」分析レポート

地域の
活力は



令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポート

本市が「消滅可能性自治体から脱却」



令和6年4月24日に、民間の有識者等で作る「人口戦略会議」から発表された「地方自治体『持続可能性』分析レポート」で、10年前の同様の調査では「消滅可能性自治体」とされていた本市は、今回、若い女性の減少率が県内で最も改善し、「消滅可能性自治体」から脱却することができました。

■人口戦略会議の令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポートのポイント

- ①本市は、2014年発表では消滅可能性自治体 → 2024年発表では消滅可能性自治体から脱却
- ②「若年女性人口変化率（減少率）」に着目すると、本市は前回の－51.8%から、今回は－38.7%と13.1ポイント改善（県内トップの改善ポイント）しています。

令和6年発表 持続可能性分析レポート 人口戦略会議（議長：三村明夫日本製鐵名誉会長）発表

	2020年 総人口	2020年 20-39歳女性 ③	2050年 総人口	2050年 20-39歳女性 ④	若年女性 人口減少率 (1-④/③)	消滅可能性 自治体（※）
大分市	475,614	48,813	415,875	38,116	－21.9%	
別府市	115,321	11,319	84,031	8,085	－28.6%	
中津市	82,863	7,711	69,547	5,741	－25.5%	
日田市	62,657	4,785	38,839	2,607	－45.5%	
佐伯市	66,851	4,468	35,779	2,006	－55.1%	消滅可能性
臼杵市	36,158	2,403	19,842	1,150	－52.1%	消滅可能性
津久見市	16,100	958	6,800	331	－65.4%	消滅可能性
竹田市	20,332	1,202	9,699	547	－54.5%	消滅可能性
豊後高田市	22,112	1,951	15,895	1,196	－38.7%	
杵築市	27,999	2,168	16,456	1,075	－50.4%	消滅可能性
宇佐市	52,771	4,193	35,431	2,490	－40.6%	
豊後大野市	33,695	2,236	18,093	1,066	－52.3%	消滅可能性
由布市	32,772	3,161	25,542	2,397	－24.2%	
国東市	26,232	1,749	14,119	687	－60.7%	消滅可能性
姫島村	1,725	59	558	14	－76.3%	消滅可能性
日出町	27,723	2,656	23,163	2,024	－23.8%	
九重町	8,541	519	4,159	211	－59.3%	消滅可能性
玖珠町	14,386	1,020	7,515	421	－58.7%	消滅可能性



財政状況の推移

着実な施策推進のため、未来を見据え安定した財政運営を目指す

平成23年度からの歳入歳出の決算状況や主な財政指標は、以下のとおり健全な財政運営となっています。

■普通会計の経常収支比率は県内14市で1位（一番低い値）

財政の弾力性を示す経常収支比率は、令和2年度～5年度は4年連続県内14市で一番低い（良い）値となっています。

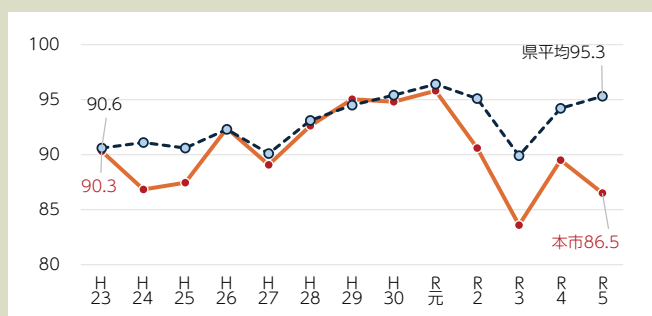
■財政の健全度を表す「財政4指標」も問題のない値

令和5年度の財政4指標の値は、①実質赤字比率が「赤字なし」、②連結実質赤字比率が「赤字なし」、③実質公債費比率が「3.8」、④将来負担比率が「将来負担なし」と良好な結果となっています。

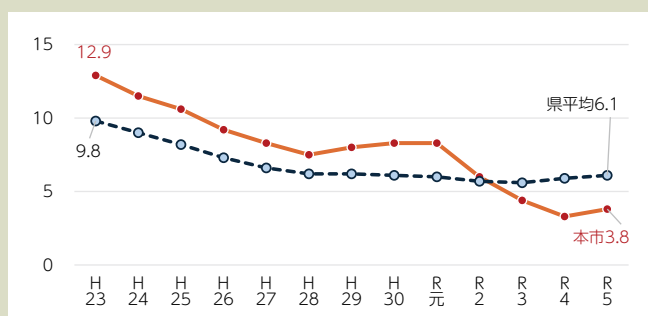
■年度別歳入・歳出の状況（単位：百万円）

普通会計	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度
■歳入総額	15,035	15,462	15,204	16,012	17,585	15,419
うち地方交付税	7,035	6,889	6,852	6,736	6,575	6,270
うち市税	2,156	2,143	2,124	2,126	2,154	2,213
うち市債	1,628	2,168	1,411	2,098	3,533	1,582
■歳出総額	14,657	14,980	14,605	15,414	17,143	14,822
うち義務的経費	7,278	7,223	6,672	6,794	6,750	7,055
うち投資的経費	1,975	2,298	1,905	2,827	4,286	2,280

■年度別の経常収支比率（低いほどよい）の推移（単位：%）



■年度別の実質公債費比率（低いほどよい）の推移（単位：%）



ふるさと納税の推進 全国トップレベルの子育て支援を「本気」で目指しています

平成20年から始まった「ふるさと納税」制度は、居住地以外の自治体へ納税できる制度で、市内をはじめとした返礼品事業者の協力により、積極的に推進しています。

ふるさと納税の寄附金は、「高校生までの医療費を無料化」「給食費を無料化（幼・小・中学校）」「保育料と幼稚園の授業料を無料化」「子育て応援誕生祝い金」などをはじめとした子育て支援制度の財源としてすべて活用しています。また、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）も推進しています。

未来に向けた基金積み立てと市債償還

健全で持続可能な財政運営に向け、計画的な基金の積み立てと市債の適切な管理を行っています。

■基金（市の貯金）

普通会計の基金残高は、平成23年度末の約80億円から令和5年度末には119億円となりました。（平成30年度・令和元年度の減少は、将来負担の軽減のため基金を活用した市債の繰上償還によるものです。）

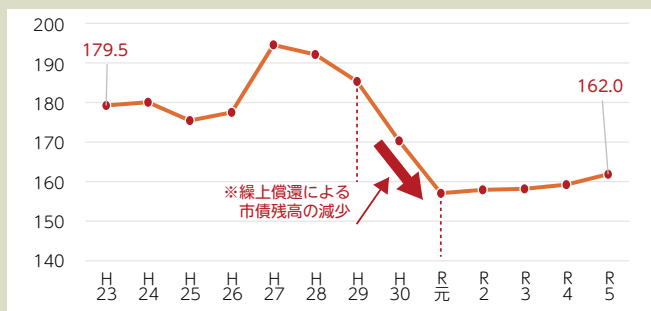
■市債（市の借金）

基金を活用した繰上償還の実施などにより、平成23年度末に約180億円あった普通会計の市債残高は、令和5年度末には約162億円に減少しています。また、借入時には地方交付税で措置される有利なものを借り入れています。

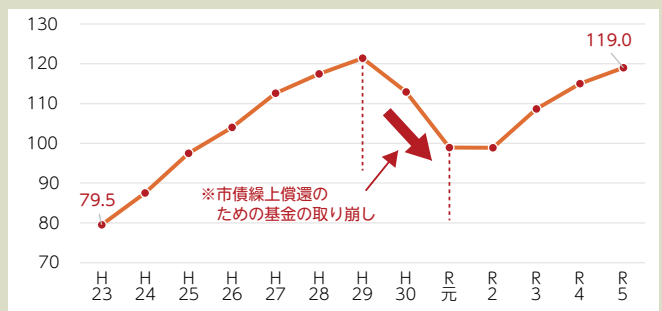
■年度別歳入・歳出の状況（単位：百万円）

普通会計	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
■歳入総額	14,733	16,036	16,711	18,607	17,466	17,925	17,769
うち地方交付税	5,927	5,900	5,741	5,881	6,314	6,141	6,111
うち市税	2,264	2,306	2,314	2,280	2,269	2,389	2,450
うち市債	1,328	1,449	1,841	1,732	1,705	1,812	1,823
■歳出総額	14,459	15,907	16,584	18,183	16,746	17,429	17,306
うち義務的経費	7,031	8,120	8,387	7,192	7,857	7,717	7,324
うち投資的経費	1,841	2,161	1,979	2,354	2,089	2,869	2,454

■年度別の市債残高の推移（単位：億円）

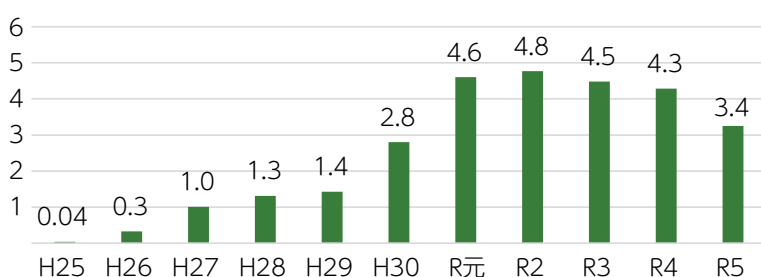


■年度別の普通会計の基金残高の推移（単位：億円）



※平成30年度・令和元年度に基金を利用した市債の繰上償還を行ったことによる市債・基金残高の減少

本市のふるさと納税年度別歳入額（単位：億円）



豊後高田市のふるさと納税は、寄附金の使い道を「子育て支援」のみに限定しています。

「全国トップレベルの子育て支援」を目指し、様々な施策を実現しています。

▶ 各年度のあゆみ

平成 23 年度
～
令和 6 年度





㈱宝島社の田舎暮らしの本「住みたい田舎ベストランキング」
13年連続ベスト3と全4部門1位（人口規模別）を祝した記念写真（花っこルーム）



■4月

- ・六郷園移譲式
- ・陸前高田市へ災害緊急支援隊出発 ①
- ・寺子屋プラチナ館開講
- ・J-ALERT（全国瞬時警報システム）運用開始
- ・玉津プラチナ通りに福祉事務所プラチナ支所を開設

■7月

- ・ごみゼロぶんごたかだ条例を施行
- ・国土交通省九州地方整備局と大規模災害時の応援に関する協定締結

■8月

- ・(株)土屋製作が立地協定締結

■9月

- ・農林振興課、農業委員会、農業再生協議会が農協豊後高田支店2階に移転
- ・中央公民館大ホールをリニューアル（2階席新設） ②

■10月

- ・新火葬場「悠久の杜」供用開始 ③
- ・新図書館起工式
- ・「豊後高田昭和の町」誕生10周年記念式典開催
- ・子育て支援施設「おひさまひろば」オープン
- ・春日神社本殿などが国登録有形文化財に登録
- ・高齢者交流施設「プラチナ笑話館」オープン

■11月

- ・緊急速報「エリアメール」サービス開始
- ・昭和の町展示館リニューアルオープン

■12月

- ・田染荘小崎が日本ユネスコ「未来遺産」に登録

■1月

- ・(株)湯川鉄工所が立地協定締結

■2月

- ・豊後高田昭和の町が国土交通省「手づくり郷土賞」大賞受賞

■3月

- ・市議会議長に河野正春議員、副議長に安達隆議員が就任
- ・第2期中心市街地活性化基本計画が内閣総理大臣より認定

平成 23 年度のあゆみ

ピックアップ

①陸前高田市へ災害緊急支援隊が出発



4月7日、災害緊急支援隊の20人が、企業や市民から寄せられた10t超の支援物資をトラック3台に積み、岩手県陸前高田市へ出発しました。

②中央公民館大ホールが2階席を新設してリニューアル



9月30日、中央公民館大ホールの2階席増設工事が完成し、1・2階席合わせた収容人数が412人の大ホールが誕生しました。

③新火葬場「悠久の杜」供用開始



10月14日、中真玉地区に3基の火葬炉を備えた新火葬場「悠久の杜」の完成に伴い、関係者による落成式が行われました。

平成 24 年度のあゆみ

ピックアップ

①初開催の住みたい田舎ベストランキングで全国1位に



いなか暮らしの本（株宝島社）の第1回2013年版日本「住みたい田舎」ベストランキングで、本市が総合1位に輝きました。

②待望の新図書館落成式・オープン



2月14日、文化の拠点となる新図書館が完成し、関係者を招いて落成式が行われました。

③縁結びモニュメント「結」完成、「恋叶ロード」の愛称を発表



3月30日、栗嶋公園に完成した縁結びモニュメント「結」の除幕式と併せて、新観光ルートのお愛称「恋叶（こいかな）ロード」が発表されました。

主な出来事

■4月

- ・長崎鼻に「花キッチンfiore」オープン

■6月

- ・国東半島アートプロジェクト始動（国東半島芸術祭プレ事業）（平成26年度まで）
- ・「豊後高田昭和の町」の取り組みが第7回まち交大賞で国土交通大臣賞を受賞

■7月

- ・草地踊り保存会が釜山（韓国）で公演
- ・花いろ温泉が入場者150万人達成

■8月

- ・NHK「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が中央公園で公開生放送

■11月

- ・「鬼と炎が舞う長岩屋修正鬼会」が日本ユネスコ「未来遺産」に登録
- ・「益若つばさ」さんが観光大使に就任
- ・交流ショップ「よりみち」オープン

■1月

- ・岬ガザミが特許庁の「地域団体商標登録」を取得
- ・いなか暮らしの本（株宝島社）の特集企画、日本「住みたい田舎」ベストランキングで本市が全国1位に輝く①（※以降、同誌の同ランキングは、「住みたい田舎ベストランキング」と表記）
- ・新婚さん応援住宅「ハピネス・ステージ」入居開始

■2月

- ・大分ふるさとCM大賞（大分朝日放送㈱主催）で本市のCMが大賞受賞
- ・新図書館落成式・オープン ②
- ・定住促進空き家活用住宅「虹いろ住宅」入居開始
- ・市議会副議長に山本博文議員が就任

■3月

- ・飼料用米で育てるブランド牛「豊後・米仕上牛」販売報告会開催
- ・勤労青少年ホームのリニューアル工事完了
- ・栗嶋公園の縁結びモニュメント「結」除幕式と併せて「恋叶ロード」のお愛称を発表 ③
- ・本市のCMが「JIMOT CM COMPETITION」でグランプリを獲得

■4月

- ・小中一貫校「戴星学園」開校 ①
- ・豊後高田市長選挙（永松博文氏当選：3期目）
- ・豊後高田商工会議所から、今成佳奈さん作詞作曲の市のイメージソングが市へ寄贈。（公募した曲名は「こころのふるさと」に決定し、8月の高田観光盆踊り大会会場で発表）

■5月

- ・「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」が世界農業遺産に認定 ②

■7月

- ・豊後高田そば道場竣工 ③
- ・山宗綸と立地協定締結
- ・高田中央病院に小児科が常設開始
- ・市公式Facebookを開設

■9月

- ・第30回全日本少年軟式野球大会で全国制覇した高田中学校野球部に市民栄誉賞を贈呈

■10月

- ・借地対応型住宅ローン創設（大分県信用組合との官民協働による定住促進事業に係る協定締結）
- ・「富貴寺境内」が国の史跡に指定
- ・祝世界農業遺産認定 元気創出プレミアム商品券（10%プレミアム）を発行

■11月

- ・宇佐・高田・国東の「広域ごみ処理施設」の建設候補地が宇佐市西大堀地区に決定
- ・市立図書館来館者10万人達成
- ・国東半島峯道ロングトレイルがオープン
- ・NHK大分発地域ドラマ「そんじょそこら商店街」が本市で撮影（翌年3月12日、NHKBSプレミアムで全国放送）

■12月

- ・豊後高田手づくり万菜おせち完成、販売開始

■1月

- ・定住促進住宅団地「夢まち城台、犬田」の現地説明会開催。夢まち城台・犬田の1次予約開始（2次予約は3月～）

■3月

- ・玉津プラチナ通りにトリックアート4作品とコミュニティカフェ「こいこい」が誕生

平成 25 年度のあゆみ

ピックアップ

①小中一貫校「戴星学園」開校



4月11日、施設一体型一貫校としては県内初となる小中一貫校「戴星学園」が開校。21日には約300人が参加した落成式が行われました。

②「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」が世界農業遺産に認定



5月30日、「循環型の農林水産業」の営みが世界的に価値あるものと認められ、国内3例目の世界農業遺産に認定されました。

③豊後高田そば道場竣工



7月12日、そば打ち体験やそば加工品等の販売などを行う豊後高田そばブランド化を担う拠点施設「豊後高田そば道場」が完成しました。

平成 26 年度のあゆみ

ピックアップ

①待望の新庁舎建設工事着工



7月31日、関係者による新庁舎の起工式が行われ、本市の拠点となる新庁舎の建設が始まりました。

②花いろ温泉リニューアルオープン（露天風呂リニューアル）



10月18日、花いろ温泉に、和風・洋風の露天風呂が新設され、リニューアルオープンしました。

③チームラボギャラリー真玉海岸オープン



3月21日、真玉海岸のすぐそばに、本市2つ目の作品となるチームラボが手掛けた「チームラボギャラリー真玉海岸」がオープンしました。

主な出来事

■4月

- ・ピロリ菌除菌プロジェクト開始
- ・山宗株の大分工場完成
- ・犬田住宅団地（夢まち犬田）第1期販売開始
- ・豊後高田市ウォーキングコース（中心市街地コース）新設オープン

■7月

- ・豊の国千年ロマン観光圏が新観光圏として国から認定
- ・花いろに「子育てmama相談窓口」オープン
- ・新庁舎の建設工事着工 ①

■8月

- ・祝新豊後高田市誕生10周年 元気創出プレミアム商品券（10%プレミアム）を発行
- ・島原市と災害における相互応援協定を締結

■10月

- ・国東半島芸術祭開幕（10/4～11/30）
- ・国東半島峯道ロングトレイル T-2・T-3コースオープン
- ・花いろ温泉リニューアルオープン（露天風呂リニューアル） ②

■12月

- ・豊後高田昭和の町拠点施設「赤レンガ」リニューアルオープン
- ・筑城跡伝承地竣工式
- ・電気自動車用急速充電器を設置（スパランド真玉・長崎鼻リゾートキャンプ場）

■2月

- ・(株)東陽九州が増設表明
- ・豊後高田市議会議員選挙（定数18人）

■3月

- ・定住促進子育て応援住宅「住まいるハウス」入居開始
- ・市議会議長に安達隆議員、副議長に成重博文議員が就任
- ・市営千部墓地申込開始
- ・チームラボギャラリー真玉海岸オープン ③
- ・第一配水池改築工事完成
- ・市民チャンネルハイビジョン放送開始
- ・消防救急無線デジタル化・通信指令台運用開始
- ・新豊後高田市10周年（3月31日）

■4月

- ・定住促進住宅団地「夢まち城台」第1期・「夢まち犬田」第2期販売開始
- ・新豊後高田市10周年・豊後高田市制60周年、豊後高田商工会議所60周年合同記念式典開催

■6月

- ・豊後高田昭和の町が「第1回COOL JAPAN AWARD 2015」を受賞

■7月

- ・本市オリジナルの婚姻届・出生届の利用開始 ①
- ・新豊後高田市10周年記念スーパープレミアム商品券（20%プレミアム）を発行

■8月

- ・子育て支援住宅「エミール城台」入居開始
- ・豊後高田市全力発展の日（8/10）、豊後高田昭和の町の日（4/29）、豊後高田市移住の日（1/10）を記念日登録

■9月

- ・別府大学と共同で「豊後高だし」を開発

■10月

- ・全国移住ナビコンテストで「総務大臣賞」受賞
- ・豊後高田市まち・ひと・しごと“全力”創生プラン（地方版総合戦略）策定

■11月

- ・新豊後高田市10周年記念「豊後高田のど自慢」開催 ②

■1月

- ・一松定吉氏、酒井武雄氏、宮本宗十氏、堤隆一氏（4氏）を名誉市民に、山田重雄氏、福永アキ氏、堤與氏（3氏）を特別市民に選定
- ・市役所新庁舎完成記念式典開催（1/10） ③

■2月

- ・豊後高田市恋叶ロードの日（2/13）を記念日登録
- ・栗嶋公園リニューアルオープン。恋叶ロードムービーとイメージソングを発表

■3月

- ・大分労働局と雇用対策協定を締結
- ・市議会のケーブルテレビ生放送が始まる
- ・第2次豊後高田市総合計画策定

平成 27 年度のあゆみ

ピックアップ

①婚姻届と出生届を一生の思い出に！



本市オリジナル「婚姻届」「出生届」が登場。記念用の台紙へコピーして思い出に残る形としてお渡しすることとなりました。

②新豊後高田市10周年記念「豊後高田のど自慢」



11月14日、香々地公民館で「豊後高田のど自慢」を開催。予選を突破した25組の歌自慢の皆さんがグランプリを目指して熱唱しました。

③市役所新庁舎完成記念式典



1月10日、市役所新庁舎完成を記念して、来賓や関係者などによる完成記念式典が行われました。（新庁舎の供用開始は1/4）

平成 28 年度のあゆみ

ピックアップ

①夢まち城台、新たな「まちびらき」



8月28日、定住促進住宅団地「夢まち城台」のまちびらきが、関係者・地区住民が集まって開催され、新たな「まち」の誕生を祝いました。

②映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」の撮影が市内各所で行われる



2月1日から、東野圭吾さん原作の映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」の撮影が、宮町ロータリー周辺など市内各地で行われました。

③ミニシアター「玉津東天紅」オープン



3月30日、玉津プラチナ通りの空き店舗となっていたパン工場を改修して、市内唯一の映画館「玉津東天紅」がオープンしました。

主な出来事

■4月

- ・香々地保育所を福岡真玉福祉会へ民間移管
- ・高田中央病院内に「病児保育室なないろ」開設
- ・佐々木卓郎氏を特別市民に選定

■5月

- ・是永瞳さんが市観光キャンペーンレディに就任

■7月

- ・ふるさとキャラクターの名前が応募1,130通の中から「ラッピー」に決定
- ・40歳未満が対象の市独自の無料健診「U40健診」スタート
- ・別府大学と共同開発の「豊後高だし」リニューアル

■8月

- ・定住促進住宅団地「夢まち城台」のまちびらき式典開催 ①

■9月

- ・豊後高田昭和の町15周年感謝祭を開催
- ・豊後高田市企業立地促進条例を制定

■10月

- ・国の重要文化的景観「田染荘小崎の農村景観」に里山エリアが追加選定
- ・本市が都市計画協会会長賞を受賞
- ・花とアートの岬プロジェクト始動（平成30年度まで）

■12月

- ・山宗(株)の第2工場完成

■1月

- ・豊後高田昭和の町に「昭和の路地裏迷路」オープン

■2月

- ・映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」の撮影がメインロケ地として市内各所で行われる ②
- ・平成28年度ふるさとづくり大賞「地方自治体表彰」（総務大臣賞）を受賞

■3月

- ・草地踊り保存会がホノルルフェスティバルに出場
- ・恋叶トンネルに新たな壁画10作品が完成
- ・恋叶ロードのオリジナルラッピングバスとバス停（看板54枚）が完成
- ・市道坂ノ上線を供用開始
- ・映画「旅猫リポート」の撮影が市内で行われる
- ・ミニシアター「玉津東天紅」オープン ③

■4月

- ・豊後高田市長選挙（佐々木敏夫氏当選：1期目）
- ・永松博文市長、鷺海豊副市長が退任
- ・佐々木敏夫氏が市長に就任（4/24）①

■5月

- ・映画「坂道のアポロン」の撮影が市内で行われる

■6月

- ・長崎鼻海水浴場にキャンピングトレーラー登場

■7月

- ・堤隆氏が副市長に就任
- ・NHK「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が中央公園で公開生放送②
- ・九州北部豪雨発生。平成25年から特別警報の運用開始後初となる大雨特別警報が豊後高田市に発表される。
- ・市観光キャンペーンレディに山田朗子さんが就任
- ・市、市医師会、エーザイ(株)の3者で「認知症の方が安心して暮らせるまちづくり連携協定」を締結（医師会を含めた協定は九州初）
- ・(株)東洋経済新報社の『成長力』ランキングで、全国10位（県内1位）に

■9月

- ・キューバ国立穀物研究所職員が田染荘を視察
- ・映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」の特別試写会実施
- ・豊後高田昭和の町がアジア都市景観賞を受賞

■10月

- ・「天念寺耶馬及び無動寺耶馬」が国の名勝に指定

■2月

- ・豊後高田市、豊後高田商工会議所、(株)トヨ・テックで「豊後高田市外国人技能実習制度導入事業連携協定」を締結し、「豊後高田 International Contribution 事業協同組合（B I C）」を設立③

■3月

- ・市公式Instagram開設
- ・市議会副議長に近藤紀男議員が就任
- ・「妙壽寺本堂ほか」が国の登録有形文化財に登録
- ・第1水系13号井取水井完成
- ・長崎鼻リゾートキャンプ場に新コテージ（2棟）が完成

平成 29 年度のあゆみ

ピックアップ

①佐々木敏夫氏が市長に就任



4月24日、市長選挙で初当選した佐々木敏夫氏が、市職員に迎えられて、初登庁しました。

②NHK特別巡回ラジオ体操が本市で！



7月2日、中央公園でNHK特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会が多くの方の参加で行われ、全国に生放送されました。

③行政が支援する全国初の事業組合設立



2月14日、市、豊後高田商工会議所、株式会社トヨ・テックで、外国人技能実習制度導入事業連携協定を締結しました。

平成 30 年度のあゆみ

ピックアップ

①花っこルームが真玉と香々地にオープン



4月7日、真玉公民館と旧香寿苑（香々地庁舎横）に花っこルームがオープンしました。（写真：花っこルーム真玉のセレモニー）

②国直轄で海岸保全施設整備がスタート



呉崎から真玉にかけて広がる干拓地（第1～3工区）の堤防などの海岸保全施設の改修工事（総事業費250億円）が、国直轄事業で開始されました。

③『鬼が仏になった里「くにさき」』が日本遺産に認定



5月24日、歴史的魅力や特色を通じて日本の文化や伝統を語るストーリーを文化庁が認定する日本遺産に『鬼が仏になった里「くにさき」』が認定されました。

主な出来事

■4月

- ・全国に先駆けて、高校生までの医療費、幼稚園・小中学校の給食費を無料化
- ・真玉・香々地に花っこルームがオープン ①
- ・簡易水道を上水道に統合
- ・国直轄の海岸保全施設整備事業が始まる ②

■5月

- ・『鬼が仏になった里「くにさき」』が日本遺産に認定（国東市と共同申請） ③

■6月

- ・草地踊り保存会が（公社）全日本郷土芸能協会の平成30年度「特別表彰」を受賞

■7月

- ・本市の観測史上1位となる日降水量221.5mmを観測。市内各所で土砂災害による交通障害などが発生

■8月

- ・市立図書館来館者50万人達成

■10月

- ・「第33回国民文化祭・おおいた2018」、「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」が本市でも開催される（11/25まで）
- ・「中山仙境（夷谷）」が国の名勝に指定
- ・江口章子記念公園が生家跡地に完成

■11月

- ・御玉市民公園オープン

■12月

- ・花とアートの岬・長崎鼻が、国土交通省「手づくり郷土賞（一般部門）」を受賞

■1月

- ・「住みたい田舎ベストランキング」で本市が「小さなまち」で総合部門1位に輝く

■2月

- ・豊後高田市議会議員選挙（定数16人）
- ・㈱キャムが九州工場増設表明

■3月

- ・市議会議長に菅健雄議員、副議長に土谷信也議員が就任
- ・消防本部にバス型救助工作車を導入
- ・cookpad（クックパッド）に「豊後高田公式キッチン」開設

■4月

- ・市内の保育園の保育料と副食費を無料化、市内の幼稚園の授業料を無料化。同時に、子育て応援誕生祝い金制度スタート

■5月

- ・市観光キャンペーンレディにキリティ凜さんが就任

■8月

- ・兄弟都市提携50周年記念 島原市親善訪問団が来市

■10月

- ・無料の定住促進宅地（真玉・都甲）予約受付開始（11/24現地説明会）①
- ・「六郷満山の峯入りの道」が文化庁の歴史の道百選に選定
- ・予約制乗合タクシー本格運行

■1月

- ・「住みたい田舎ベストランキング」で本市が「小さなまち」で総合部門2年連続1位に輝く
- ・玉津東天紅が映画鑑賞者数1万人を達成

■2月

- ・新型コロナの影響での自宅待機者・療養者への緊急支援として「買い物支援」を開始
- ・「豊後高田あるある！」が（一財）地域活性化センター主催の地域プロモーション大賞のふるさとパンフレット大賞で大賞受賞

■3月

- ・市会議長に河野徳久議員、副議長に阿部輝之議員が就任
- ・豊後高田市手話・点字等障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の普及及び利用促進に関する条例を制定
- ・第2次豊後高田市総合計画の改訂、第2次豊後高田市総合計画と第2期豊後高田市まち・ひと・しごと「活力」創生プランの一体化
- ・第1水系14号井取水井完成
- ・恋叶トンネルに新たに50作品以上のアートが完成 ②
- ・大雨予想時に、ため池の貯水量を事前に放流する「災害未然防止協定」を締結 ③

令和元年度のあゆみ

ピックアップ

①無料の定住促進宅地（真玉・都甲）完成



11月24日、完成した移住者向けの無料の定住促進宅地（真玉・都甲）の現地説明会が開催されました。

②恋叶トンネルリニューアル



3月20日、県内の学生などが描いた50作品以上の新たな壁画が恋叶トンネルに登場。リニューアル記念イベントが開催されました。

③全国に先駆けた「災害未然防止協定」



大雨予想時に、市内すべての防災重点ため池で、貯水量を事前に放流する「災害未然防止協定」を令和2年3月までに締結しました。

令和 2 年度のあゆみ

ピックアップ

①お得なお買物引換券で買物促進！



新型コロナ対策として、地域経済の活性化に向けたプレミアム付き商品券等の第1弾となるお買物引換券が発売されました。

②長崎鼻に「不均質な自然と人の美術館」オープン



8月1日、長崎鼻リゾートキャンプ場内に、デジタルアートギャラリー「不均質な自然と人の美術館」が完成しました。

③豊後高田昭和の町に「創業支援施設」等が完成



3月29日、誘客促進と中心市街地の活性化を図るための創業支援施設と交流拠点施設の完成セレモニーが行われました。

主な出来事

■4月

- ・妊産婦医療費を無料化
- ・火葬場「悠久の杜」使用料の無料化開始
- ・下水道会計を公営企業会計に変更
- ・子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点を健康交流センター花いろに設置

■5月

- ・1人10万円の国の特別定額給付金の振り込みを県内最速で開始
- ・新型コロナウイルス感染症対策第1弾を実施（P23参照）

■6月

- ・国東半島カルチャーツーリズム推進事業始動（令和3年度まで）

■7月

- ・20%お得なプレミアム商品券等の第1弾となるお買物引換券を発行 ①
- ・新型コロナウイルス感染症対策第2弾を実施（P23.24参照）

■8月

- ・長崎鼻に「不均質な自然と人の美術館」開館 ②

■10月

- ・まちなか乗合タクシーの実証実験運行始まる
- ・新型コロナウイルス感染症対策第3弾（20%お得なプレミアム商品券第2弾含む）を実施（P23.24参照）
- ・㈱エイチワンが中核工業団地へ立地表明

■11月

- ・市がラジオ体操優良団体等表彰「府県等表彰」を受賞

■1月

- ・「住みたい田舎ベストランキング」で本市が人口10万人未満の「小さな市」で、全4部門1位を獲得（人口規模別全部門トップ1回目）

■3月

- ・市会議長に北崎安行議員、副議長に中尾勉議員が就任
- ・玉津プラチナ通りに新たなトリックアートが誕生
- ・「真玉海岸」が国の登録記念物（名勝地関係）に登録
- ・昭和の町創業支援施設等完成。交流拠点施設の愛称は令和4年度の公募で「昭和のまち・てらす」に決定 ③

■4月

- ・新型コロナウイルス感染症対策第4弾を実施 (P23.24参照)
- ・産婦健診費用助成、産後ケア事業スタート
- ・豊後高田市長選挙 (佐々木敏夫氏当選2期目) ①
- ・東京オリンピックの聖火リレーが行われる ②

■5月

- ・都築工業㈱が立地表明
- ・すべての市民に1人5千円 (高齢者は1人2千5百円を加算) の地域振興券を配布
- ・20%お得なプレミアム商品券 (第3弾) を発行

■6月

- ・㈱住理工大分AE・㈱住理工九州が増設表明

■8月

- ・高田庁舎でパラリンピック聖火の採火式を開催

■9月

- ・市内福祉関連事業所等と災害時避難行動要支援者に関する事業の包括連携協定を締結

■10月

- ・パーフェクトビーチ・里海ヘルスツーリズム推進協議会が国土交通省地域づくり表彰「審査会特別賞」を受賞

■11月

- ・長崎鼻の地域活性化の取り組みで第2回恋人の聖地地域活性化大賞「観光庁長官賞」を受賞

■1月

- ・新型コロナの影響で中止となっていた令和3年成人式と令和4年成人式を同日実施
- ・「住みたい田舎ベストランキング」で本市が人口1万人以上3万人未満のまちで全部門1位を達成! (人口規模別で2年連続全部門トップ)

■2月

- ・30%お得なプレミアム商品券 (第4弾) を発行
- ・ムラテックメカトロニクス㈱大分工場が増設表明

■3月

- ・市議会議長に土谷信也議員、副議長に井ノ口憲治議員が就任
- ・田染の「鍋山 (南屏峡)」が国の登録記念物 (名勝地関係) に登録 ③
- ・不均質な自然と人の美術館の「太陽と月の部屋」が第25回文化庁メディア芸術祭アート部門で大賞受賞 (12ページ参照)

令和3年度のあゆみ

ピックアップ

①佐々木敏夫氏が2期目の当選



4月18日の豊後高田市長選で2期目の当選を果たした佐々木敏夫氏が、市職員に迎えられて登庁しました。

②豊後高田昭和の町に聖火がやってきた



4月23日、東京オリンピック2020の聖火リレーが行われ、市役所～豊後高田昭和の町～商工会議所前を7人のランナーで聖火を繋ぎました。

③新たな国の登録記念物 (名勝地関係) 誕生



3月15日、田染地区の鍋山 (南屏峡) が、前年の真玉海岸に続いて、国の登録記念物 (名勝地関係) に登録されました。

令和 4 年度のあゆみ

ピックアップ

①金谷吉弘氏へ名誉市民称号を贈呈



4月29日、市町合併後初の名誉市民称号贈呈式を開催し、金谷吉弘氏に本市5人目となる名誉市民称号を贈呈しました。

②高田高校生のための無料塾を開設



5月30日、高田高校生の学力アップに向けて、受講料無料の高田高校生のための市営塾（公設民営）を開設しました。

③市公式ホームページリニューアルと市LINE公式アカウント運用開始



3月7日、誰でも見やすく・検索しやすい市公式ホームページにリニューアル。また、市LINE公式アカウントの運用も開始しました。

主な出来事

■4月

- ・子育て応援誕生祝い金を最大200万円に拡充
- ・金谷吉弘氏へ名誉市民称号を贈呈 ①

■5月

- ・難関大学突破等を目指す高田高校生のための公設民営塾（受講料無料）を開塾 ②

■7月

- ・市独自に全世帯へ2万円分の家計応援お買い物券を配布

■9月

- ・30%お得なプレミアム商品券（第5弾）を発行

■10月

- ・月光仮面で活躍した俳優「大瀬康一」さんが昭和の町観光大使に就任
- ・新型コロナ対策で市独自に運送事業者・農家の方へ支援金を支給

■11月

- ・恋叶トンネルの取り組みが、恋人の聖地第3回地域活性化大賞の「審査員賞」を受賞
- ・コロナ禍で中止となっていた若宮八幡神社秋季大祭・裸祭りが3年ぶりに開催される

■12月

- ・堤隆副市長が退任

■1月

- ・「住みたい田舎ベストランキング」で本市が人口2万人以上3万人未満のまちで、全4部門1位を達成！（人口規模別で3年連続全部門トップ）
- ・市独自で令和4年度住民税均等割のみ課税世帯へ物価高騰対策特別支援金を支給

■2月

- ・豊後高田市議会議員選挙（定数16人）
- ・市立図書館開館10周年。記念フェスタ開催

■3月

- ・大分ふるさとCM大賞（大分朝日放送㈱主催）で本市のCMが大賞受賞
- ・市議会議長に安東正洋議員、副議長に毛利洋子議員が就任
- ・市公式ホームページをリニューアル、市LINE公式アカウントの運用スタート ③

■4月

- ・30%お得なプレミアム商品券（第6弾）を発行
- ・安田祐一氏が副市長に就任
- ・真玉海岸 恋叶♥ゆうひテラスがオープン ①

■5月

- ・市観光アンバサダーに山尾華織さん、神田万穂さんが就任

■6月

- ・豪雨に伴い玉津地区の水道管が破損。主に玉津、美和、呉崎地区全域で断水（6/30～7/3）

■7月

- ・国の低所得世帯向け支援金の対象外世帯を含め、市独自で全世帯に3万円の物価高騰緊急支援金と、全子育て世帯に児童1人あたり5万円の子育て世帯生活支援特別給付金を支給

■9月

- ・敬老会実施補助金を1人あたり2,000円に増額
- ・30%お得なプレミアム商品券（第7弾）を発行

■10月

- ・国の就学支援金制度対象外の世帯にも市独自で高校授業料の支援開始

■11月

- ・市立図書館来館者100万人達成 ②

■12月

- ・大分銀行、市、商工会議所、商工会、市工業連、市商連、市観光まちづくり(株)で、昭和100年センチュリープロジェクト推進協議会を設立

■1月

- ・「住みたい田舎ベストランキング」で本市が人口3万人未満の市で全4部門1位を達成！（人口規模別で4年連続全部門トップ）

■2月

- ・30%お得なプレミアム商品券（第8弾）を発行
- ・「朝日岩屋」と「夕日岩屋」が国の登録記念物（名勝地関係）に登録
- ・市観光まちづくり(株)が「恋叶ロード」を商標登録

■3月

- ・草地踊り保存会がホノルルフェスティバルに出場
- ・市内4カ所を「指定福祉避難所」として初指定
- ・豊後高田昭和の町商店街のアーチ看板と駅通り商店街の街路灯をリニューアル ③

令和5年度のあゆみ

ピックアップ

①真玉海岸に期待の新施設誕生



4月28日、日本夕陽百選の一つ「真玉海岸」に新たな観光交流施設「真玉海岸 恋叶♥ゆうひテラス」がオープンしました。

②ありがとう！来館者100万人達成！



11月6日、平成25年2月14日にオープンした市立図書館の来館者数が100万人を達成しました。

③豊後高田昭和の町のシンボルをリニューアル



豊後高田昭和の町商店街のアーチ看板と駅通り商店街の街路灯のリニューアル工事が完成。4月27日には多くの方が参加して点灯式が行われました。

※市公式ホームページ（HP）を令和5年3月に全面リニューアルしたため、

令和 6 年度のあゆみ

ピックアップ

①本市が消滅可能性自治体から脱却



人口戦略会議のレポートで本市が消滅可能性自治体から脱却し、自治体通信には「「消滅可能性」から「社会増」へと転換させた豊後高田市の挑戦」とのインタビュー記事が掲載されました。

②六郷山が国の史跡に指定



古代から中世の信仰のあり方を理解するうえで重要として、長安寺・天念寺・夷岩屋・岩戸寺（国東市）の境内が国の史跡に指定されました。

③兄弟都市提携55周年記念の親善訪問団が島原市を訪問



10月20日・21日、金谷吉弘豊後高田商工会議所名誉会頭を団長とする約100名の訪問団が島原市を親善訪問しました。

主な出来事

■4月

- ・ 小学校、中学校、高校に入学する子ども1人あたり5万円の子育て応援入学祝い金スタート
- ・ まちなか乗合タクシーの本格運行開始
- ・ 子育て支援課内に、こども家庭センターを設置
- ・ シニアカー購入等補助、50歳以上対象の带状疱疹ワクチン接種費用助成をスタート
- ・ 人口戦略会議の令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポートで、本市が消滅可能性自治体から脱却 ①
- ・ ㈱ジェイエイフーズおおいた、香々地ベジファーム合同会社、市が連携して「長命草のチカラ」を商品化
- ・ 昭和の夢町三丁目館をリニューアル

■7月

- ・ 子どもの入院時食事代を無料化

■8月

- ・ 「豊後高田昭和の町」を商標登録
- ・ 真玉B&G海洋センターカヌー場でインターハイカヌー競技が開催される
- ・ ㈱住理工九州が増設表明
- ・ 台風10号により上香々地では1時間降水量95mm（県雨量計）の猛烈な雨を観測。市内各地の河川周辺で床上浸水などの被害が発生

■10月

- ・ 消防指令業務の県内共同運用スタート
- ・ 「六郷山」（長安寺・天念寺・夷岩屋・岩戸寺の境内）が国の史跡に指定 ②
- ・ 兄弟都市提携55周年記念親善訪問団が島原市を訪問 ③
- ・ 5年ぶりに大分方言まるだし弁論大会を開催

■12月

- ・ 国の文化審議会が、「穴井戸観音」が国の登録記念物（名勝地関係）にふさわしいと答申

■1月

- ・ 「住みたい田舎ベストランキング」で本市が人口1万人以上3万人未満のまちで全4部門1位を獲得（人口規模別で5年連続全部門トップ）

■2月

- ・ 30%お得なプレミアム商品券（第9弾）を発行

市政の体制 (平成23年度～)

■市 長

- ・永 松 博 文 (平成17年4月24日 ～ 平成29年4月23日)
- ・佐々木 敏 夫 (平成29年4月24日 ～ 在職中)

■副市長

- ・ 鴛 海 豊 (平成21年7月1日 ～ 平成29年4月23日)
- ・ 堤 隆 (平成29年7月1日 ～ 令和4年12月20日)
- ・ 安 田 祐 一 (令和5年4月1日 ～ 在職中)

■教育長

- ・ 河 野 潔 (平成20年4月1日 ～ 在職中)

市 議 会

■議長・副議長

(議 長)

- ・ 村 上 和 人 (平成23年3月2日 ～ 平成24年3月6日)
- ・ 河 野 正 春 (平成24年3月6日 ～ 平成27年2月28日)
- ・ 安 達 隆 (平成27年3月2日 ～ 平成31年2月28日)
- ・ 菅 健 雄 (平成31年3月1日 ～ 令和2年3月9日)
- ・ 河 野 徳 久 (令和2年3月9日 ～ 令和3年3月3日)
- ・ 北 崎 安 行 (令和3年3月3日 ～ 令和4年3月2日)
- ・ 土 谷 信 也 (令和4年3月2日 ～ 令和5年2月28日)
- ・ 安 東 正 洋 (令和5年3月1日 ～ 令和7年2月28日)
- ・ 北 崎 安 行 (令和7年2月28日 ～ 在職中)

(副議長)

- ・ 松 本 博 彰 (平成23年3月2日 ～ 平成24年3月6日)
- ・ 安 達 隆 (平成24年3月6日 ～ 平成25年2月27日)
- ・ 山 本 博 文 (平成25年2月27日 ～ 平成27年2月28日)
- ・ 成 重 博 文 (平成27年3月2日 ～ 平成30年3月6日)
- ・ 近 藤 紀 男 (平成30年3月6日 ～ 平成31年2月28日)
- ・ 土 谷 信 也 (平成31年3月1日 ～ 令和2年3月3日)
- ・ 阿 部 輝 之 (令和2年3月3日 ～ 令和3年3月3日)
- ・ 中 尾 勉 (令和3年3月3日 ～ 令和4年3月2日)
- ・ 井ノ口 憲 治 (令和4年3月2日 ～ 令和5年2月28日)
- ・ 毛 利 洋 子 (令和5年3月1日 ～ 令和7年2月28日)
- ・ 野 崎 良 (令和7年2月28日 ～ 在職中)

議員（議席番号順に掲載）

（任期）平成23年3月1日～平成27年2月28日（議員定数20名）

土谷 信也	近藤 紀男	成重 博文	安達 隆	山田 秀夫
松本 博彰	中山田 健晴	河野 徳久	明石 光子	土谷 力
村上 和人	鴛海 政幸	安東 正洋	北崎 安行	川原 直記
河野 正春	山本 博文	菅 健雄	徳永 浄	大石 忠昭

（任期）平成27年3月1日～平成31年2月28日（議員定数18名）

安達 かずみ	中尾 勉	黒田 健一	甲斐 明美	井ノ口 憲治
阿部 輝之	土谷 信也	近藤 紀男	成重 博文	安達 隆
松本 博彰	河野 徳久	安東 正洋	北崎 安行	河野 正春
山本 博文	菅 健雄	大石 忠昭		

（任期）平成31年3月1日～令和5年2月28日（議員定数16名）

於久 弘治	毛利 洋子	中尾 勉	黒田 健一	井ノ口 憲治
阿部 輝之	土谷 信也	成重 博文	中山田 健晴	松本 博彰
河野 徳久	安東 正洋	北崎 安行	河野 正春	菅 健雄
大石 忠昭				

（任期）令和5年3月1日～在職中（議員定数16名）

野崎 良	在永 恵	於久 弘治	毛利 洋子	中尾 勉
井ノ口 憲治	阿部 輝之	土谷 信也	成重 博文	松本 博彰
河野 徳久	安東 正洋	北崎 安行	河野 正春	菅 健雄
大石 忠昭				

※在職中の方は令和7年3月編集時点

市政のあゆみ

令和7年3月発行
（発行元）豊後高田市

花とアートの岬・長崎鼻の菜の花



応利山から望む市街地



真玉海岸の夕陽



大分県豊後高田市

